

「暮らしやすく、希望あふれるまち」めざし 中川新市長が上越市当初予算案発表

中川幹太市長にとっては初めての議員向け新年度予算説明会が21日、行われました。同市長は大きな声で予算概要等について説明しました。

新年度一般会計予算の規模は、997億8239万円、前年度当初予算比で4.6%増となっています。

中川市長はまず、「暮らしやすく、希望あふれるまち」を目指し市政運営をしていくことを明らかにし、基本方針として「市民起点のまちづくり」「上越らしい暮らしの確立」を示しました。そして、「生活の質の向上」「共創の推進」「地域の魅力の最大化」「復元力・再起力の強化」「循環共生社会の構築」の5つの視点に立って、子育てプロジェクト、健康プロジェクトなど8つのプロジェクト（人事改革プロジェクトを入れ

ると9つになる）を推進するとしています。

発表された予算案の中には、住宅リフォーム補助の上限引き上げなどの拡充、軽・中等度難聴児補聴器購入助成の全年齢への拡充、65歳以上の高齢運転者に急発進等抑制装置の設置費用の補助、脱炭素に向けた取組推進など市民要望に基づき共産党議員団で求めたものもいくつか入っています。

その一方で、保育園の民営化の推進やプライバシー侵害につながりかねない行政手続きのオンライン化の推進など問題もあります。これらは予算案の審査の中でとりあげていきたいと思っています。

飲食業関連業者に市も支援

中川市長は予算全体の説明だけでなく、21日から申請をスタートさせた飲食関連事業者への独自支援についても説明しました。

これは、飲食業者への時短要請等により、特に影響を受ける酒造、酒販、タクシー、運転代行事業者を対象に、最大100万円となる「事業者経営支援金」の上乗せ支援を行うものです。

対象となるのは、令和4年1月、2月または3月の売上げが、令和2年または令和3年の月平均売上げと比較して20%以上減少している関連事業者です。給付額は令和2年または令和3年の月平均売上げの20%（上限100万円）です。

飲食関連業者への支援については、日本共産党議員団が8日に行った市長への緊急申し入れの中でも求めていました。



【マンサク】マンサク科の落葉小高木。漢字で「満作」または「万作」と書きます。春を呼ぶ野の花の1つです。私のところでは毎年2月23日前後に黄色の花を咲かせます。春の山で「たきぎ」用に雑木を切って運ぶ時、このマンサクの木を使ってまるけていました。いま、この作業を見かけることはなくなりました。花言葉は、「靈感」「魔力」「ひらめき」などです。

3月定例議会は2日から始まります

上越市の3月定例議会が3月2日から28日までの会期で行われます。

私は3日に、日本共産党議員団を代表して総括質疑を行います。委員等々の日程は左表の通りです。ただ17日は予定では休会日ですが、委員会審査になる可能性もあります。



藤巻神社付近から見た南葉山。えちごトキめき鉄道も見えます。夏も冬も美しい眺めです。

3月議会審議日程（いずれも会議開始時間は午前10時から）

月日（曜日）	会議名	会議室名	備考
3月2日（水）	本会議	議場	提案説明、質疑
3月3日（木）	本会議	議場	総括質疑
3月4日（金）	本会議	議場	一部議案の採決
3月7日（月）	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月8日（火）	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月9日（水）	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月10日（木）	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月11日（金）	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月14日（月）	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月15日（火）	総務委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月16日（水）	総務委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月18日（金）	本会議	議場	一般質問
3月22日（火）	本会議	議場	一般質問
3月23日（水）	本会議	議場	一般質問
3月24日（木）	本会議	議場	一般質問
3月28日（月）	本会議	議場	付託案件採決

はしづめ法一の 活動レポート

No.2050 2022.2.27

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見たある記」はこちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第六九七回 食べ物を探す母

午前三時四五分だといつもの……。びっくりしましたね。母が台所へ行くと言いだしたのです。

母が起きていることに私が気づいたとき、母はポータブルトイレのそばに立っていました。「トイレか？」と聞いたなら、「台所」と言いました。

普段、車イスで移動しているので、まさかと思ったのですが、この時、母は戸につかまり、柱につかまりながら伝い歩きを始めたのです。「まだ早いすけ、寝よ」そう言っても受け付けません。

台所に入ると、まず冷蔵庫を開けました。「ねえなあ」。次いで戸棚も開けました。また、「ねえなあ」。「何しようてが？」と聞くと、母は「片栗粉」とだけ答えました。

どうやら、母は片栗粉をお湯に溶いて食べようとしているようでした。片栗粉をお湯で溶かす。それだけで、とろりとした食べ物になります。食べる体がポカポカしてきます。母は昔、腹をすかした自分の子どもたちに食べさせてきたその食べ物も自分で食べたかったのでしょうか。

片栗粉を見つけることができなかった母は、今度は、「餅でもいいがでもなあ」と言いました。でも、これも見つけれませんでした。

ふり返ってみると、この夜の母の言動はいつもと違っていました。

二三時ちょっと前のことでした。外はビュンビュンと風が吹いていました。その音を聞きながら、母のベッド脇に敷いておいた私の布団に入ろうとすると、母が目を見まし、不思議そうな顔をして私を見つめます。

「まだ寝ていない」

「はい、いっぺ寝よ」

「まだ早いよ」

「外は白くなったが」

「降ってねえよ」

電気を点けるヒモを引き、母は柱にかけた時計を見てから、また、しゃべり続けました。

「はい、風になるがど」

「違つよ、夜中だよ」

「オカズでもつくろかな。ちゃじょっぺでも……」

「なして、なあもしねでいいよ」

今度は私の後ろにある衣装箱に目をやり、言いました。

「箱の中にうんめもんあるが」

「ないわね」

「寝てばっかいたって、あれだな、なんかごっつおつろかな」

「いいわね、いいわね。早く、寝てくんない、(夜中に食べりゃ)毒だ」

「ほっか」

「はい、寝て、寝て」

「寝ていれば楽だもんな。外には雪があるが」

「あるよ」

「ヨモギ採らんねが」

「まだ雪あるよ」

そして再び、食べ物のお話をしました。

「おら、まだ朝食食つてねがど」

「そんがん時間じゃねえよ」

「柿、ねえーかな」

「ねえーよ。はい、寝ましよう、寝ましよう、遅いすけ」

この夜、母をなだめて、台所から何とかベッドに戻した私は再び布団に入りましたが、母に、もしものことが起きなければいいが、と気になり熟睡できませんでした。

でも、六時前に起床して、母を見ると、夜中には何もなかったかのような顔をして、すやすやと眠っていました。ああ、よかった。あとで、夜の出来事を長女に話したところ、「ばあちゃん、夕飯、少し足らなかったみたい」と言いました。

地域活性化めざす取組の発言も

大島区地域協議会が地域住民と意見交換会

ニュースフラッシュ

大島区出張地域協議会が18日、大島若者交流会館で開催されました。

今回の協議会では新年度の地域活動支援事業の採択方針等をいままで通りとすることを決めました。ただ、市の方針により再募集はしないということになってい

まっています。その点だけ、これまでとは違って

います。会議が終了してからは地域住民との意見交換会です。この日は保倉地区の住民を中心に10人近くが参加して

いました。参加住民の発言者は4人、このうち深沢のTさんは、「中川新市長が地域独自予算を言っているなかで、地域ビジョンを持つことが



重要だ」と訴えておられました。まったく同感です。そして今日26日、「薬師山道ユキノアカリ」で450個ものキャンドルをともすことなどを計画している細越平成会のTさんもその取組について発言しました。地域の若者がこういう場で発言すると新鮮です。話を聴いていて、私も雪道を歩きたくなくなりました。

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと

	2月16日(水)	2月23日(水)
上越南消防署	0.050	0.057
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.053	0.060
頸北消防署	0.053	0.053
頸南消防署	0.060	0.060
東頸消防署	0.037	0.043
名立分遣所	0.053	0.057
高士分遣所	0.050	0.050